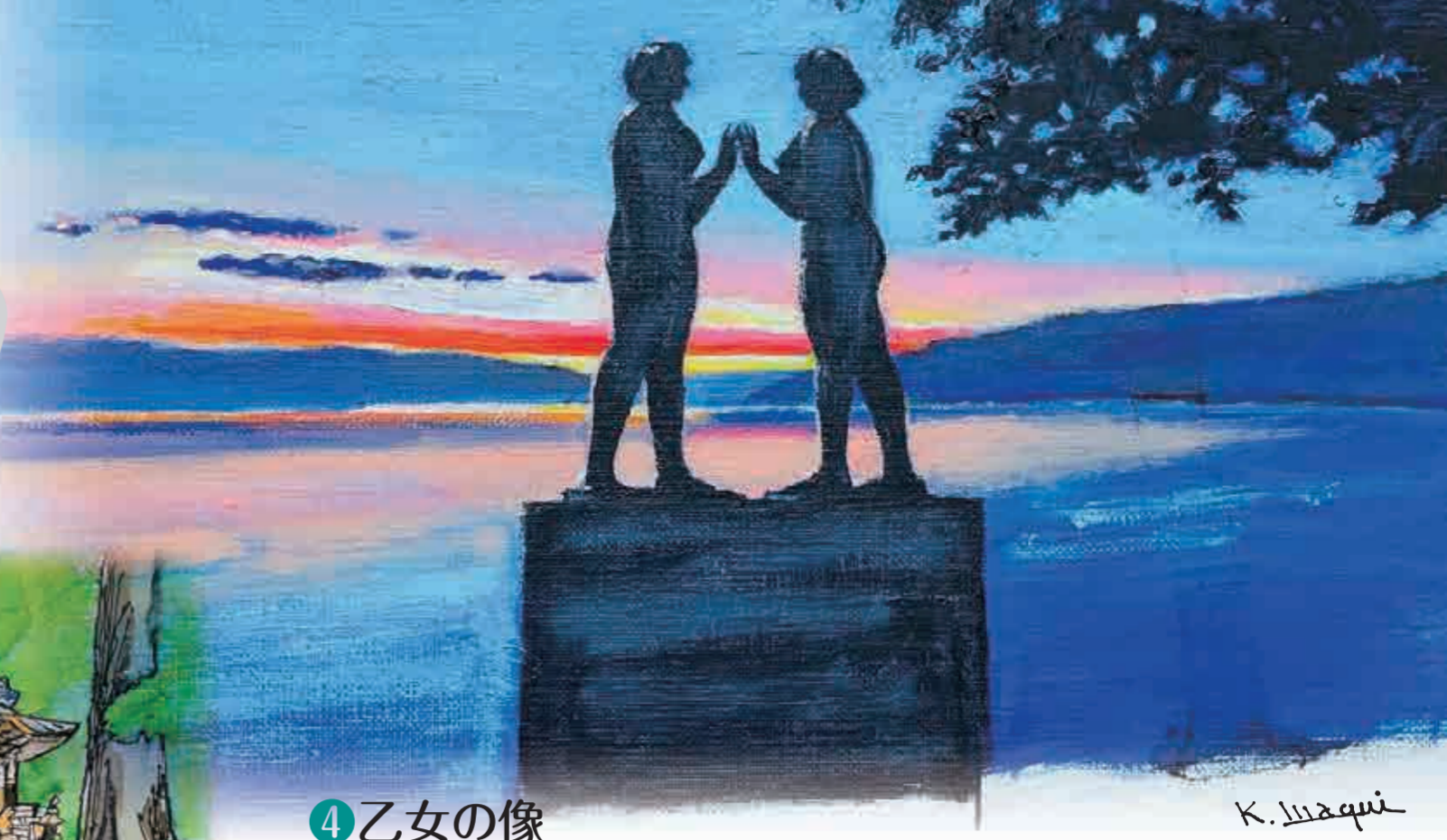


4. 休屋エリア

Lake Towada and Oirase Sketch Map



① 占い場

「おより紙」を湖水に投げ、それが水に浮き沈みする姿によって吉凶を占う、十和田湖有数の霊場のひとつ。元来は十和田神社の裏手に占い場への道がありましたが、現在は危険防止のため通行できません。湖上から訪れる各種サービスをご利用ください。

② 十和田神社

現在もパワースポットとして人気の十和田神社ですが、古くから山岳霊場十和田の参詣地として「十和田御堂」が置かれていました。十和田湖伝説に登場する南祖坊が熊野権現で修行していたところ、夢枕に神様が現れ「このわらじが切れたところに住むべし」とのお告げを受け、鉄のわらじと錫杖を授けられました。お告げに従い諸国を修行の旅に出たところ、十和田湖のほとりで鼻緒が切れたため、この地に腰を落着けたと言われています。



④ 乙女の像

昭和28年(1953年)に十和田湖国立公園指定15周年を記念して建てられ、今や十和田湖のシンボルとして知られています。作者は詩人・彫刻家の高村光太郎氏。『みちのくの自然美に対抗できる、力に満ち満ちた女性美の持ち主』をモデルに制作されたブロンズ像は、十和田湖の景観に見事に調和しながらも、凛とした存在感を放っています。



③ 恵比寿・大黒島

乙女の像に向かう「御前ヶ浜」沿いの湖上にある小島です。この島は十和田火山の溶岩が露出したもので、正式には恵比寿島と大黒島の二つに分かれています。御前ヶ浜からお賽銭を投げて、みごと島に入れば「果報」が授かるとされています。



ヒメボタル

十和田神社では7月中旬頃に「ヒメボタル」を見ることができます。一般に知られるゲンジボタルなどと違い発光時間が短く、間隔が短いことが特徴です。群生をみることができれば、イルミネーションのような光の波を体験できます。
■お問い合わせ 十和田湖自然ガイドクラブ 事務局(吉崎方) TEL 090-5181-7658

占い場 (説明①) 卍



十和田湖



乙女の像 (説明④) 御前ヶ浜

開運の小径 小道沿いの岩山の崖に6つの窟があり、それぞれ「風ノ神」「火ノ神」「山ノ神」「金ノ神」「天ノ岩戸」「日ノ神」と名付けられています。明らかに人の手によって拡張された痕跡があり、かつて山岳修行の修験者が修行のために過ごした、修験窟だといわれています。

恵比寿・大黒島 (説明③)

ヒメボタル生息域

⑤ yamaju メンバー登録制のワーキングスペース・中長期滞在者専用(4泊以上)のゲストハウスです。不定期でカフェやギャラリーに変身します。

⑦ 十和田湖増殖漁業協同組合 十和田湖名産のヒメマスや、時期にはワカサギやサクラマスの販売も行っています。ヒメマスのふ化場^{※1}や遊漁料の納付など、十和田湖の魚に関することはこちらへどうぞ。
■TEL 0176-75-2612
営業時間 9:00 ~ 16:00 (土日・祝日除く)
※1 十和田湖ふ化場。「十和田湖ひめマス」の生みの親、和井内貞行の事業を受け継ぎ、毎年ヒメマスの採卵・ふ化・放流等のヒメマス増殖事業を行っています。

⑧ 十和田湖観光交流センター ぷらっと 「十和田湖観光交流センター ぷらっと」は、観光案内のほか、生きた「十和田湖ひめマス」の展示や十和田湖の発展に貢献した人々の紹介、交流室を備えた観光施設です。
■TEL 0176-75-1531
開館時間 9:00 ~ 17:00 (年中無休)

⑨ 十和田ビジターセンター 十和田八幡平国立公園の十和田・八甲田エリアについてさまざまな情報を展示する環境省の施設。十和田の四季を模したジオラマを中心に、十和田湖の歴史から自然環境と生態系まで、楽しみながら知ることができます。
■TEL 0176-75-1015 開館時間 9:00 ~ 16:30
【休館日】毎週水曜日、12月29日~1月3日(4月下旬~5月下旬、7月下旬~10月下旬の期間は無休)

桂ヶ浜~遊歩道 人の集中する「御前ヶ浜」とはまるで違う湖畔の表情を楽しめます。整備された遊歩道は地元の人にも人気のスポット。穏やかな時間を過ごせます。

十和田湖マリンブルー 名物のアップルパイと美味しいコーヒーを楽しめる人気スポット。間近に湖面を楽しめる小型遊覧船で湖に出て、湖上でのティータイムはいかがですか。

Map凡例

- 観光案内所
- 宿泊施設
- レストラン・食堂
- カフェ・喫茶
- 売店・お土産
- トイレ
- 多目的トイレ
- 無料Wifi
- コインロッカー
- 遊覧船・ボート
- ガソリンスタンド
- 電気自動車充電スタンド
- 神社・仏閣
- 休憩所
- 見どころ・名所
- レンタサイクル
- 展望台・展望所